

令和5年4月1日

第19回(令和4年度)
日本原子力学会北関東支部 技術功労賞
選考結果のお知らせ

「第19回(令和4年度)日本原子力学会北関東支部技術功労賞」の選考において、北関東支部表彰に関する細則に基づいて審議を行った結果、次の1件が技術功労賞に該当するとの結論を得ましたので、ご報告致します。

本賞は、北関東支部管内の組織、企業等を対象に、原子力に関する研究開発施設やプラントの運転管理、安全確保等の技術支援分野において優れた貢献をした個人または団体に対して、その功労をたたえるものです。

受賞概要

第38号

JRR-3 利用促進チーム

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 研究炉加速器技術部 計画調整課

代表 吉田 慎太郎 殿

○ 受賞案件名

「研究用原子炉 JRR-3 バーチャルツアーの完遂」

○ 受賞概要

初の国産研究炉である JRR-3 は、長年にわたり中性子ビーム実験、原子力燃料・材料の照射試験、ラジオアイソトープやシリコン半導体の製造などに活用されている。新型コロナウイルス禍で原子炉施設の見学が困難となっていた中、3Dバーチャル技術を活用して Web サイト上で当該施設見学を可能とすることで、遠方から施設内の様々な設備を、利用目的を理解しつつ見ることができるという対面型に代わる新たなスタイルの施設公開を実現した。

本件は、核物質防護上の情報管理に係る制約を工夫によって克服し、3Dバーチャル技術を施設見学やアウトリーチ活動に適用したものである。今後、JRR-3 の新規利用者の拡大や核関連施設に対する幅広い理解につながる可能性もあり、技術功労賞にふさわしいものとする。

○ 受賞者

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 研究炉加速器技術部 計画調整課

吉田 慎太郎、神永 薫

総務部 法務・文書課

横須賀 絵里

原子力科学研究所 研究炉加速器技術部 JRR-3 管理課

荒木 正明、諏訪 昌幸、車田 修、平根 伸彦、宇野 裕基

保安管理部 品質保証課

福島 学

JAEA イノベーションハブ オープンイノベーション推進課

松江 秀明

原子力科学研究部門 企画調整室

阿部 一英

核不拡散・核セキュリティ総合支援センター 能力構築国際支援室

関根 恵、助川 秀敏、井上 尚子

以上